



# スキャナ プールの設定

## ONTAP 9

NetApp  
February 12, 2026

# 目次

スキャナ プールの設定 .....	1
ONTAP Vscanスキャナ プールの設定について学ぶ .....	1
単一クラスタにONTAP Vscanスキャナプールを作成する .....	1
MetroCluster構成でONTAP Vscanスキャナプールを作成する .....	2
ONTAP Vscanを使用して単一クラスタにスキャナポリシーを適用する .....	5
MetroCluster ONTAP Vscan構成でスキャナポリシーを適用する .....	6
Vscan でスキャナ プールを管理するための ONTAP コマンド .....	8

# スキャナ プールの設定

## ONTAP Vscanスキャナ プールの設定について学ぶ

スキャナ プールは、SVMに接続できるVscanサーバと特権ユーザを定義します。スキャナ ポリシーは、スキャナ プールがアクティブかどうかを定義します。



SMBサーバでエクスポート ポリシーを使用する場合は、各Vscanサーバをエクスポート ポリシーに追加する必要があります。

## 単一クラスタにONTAP Vscanスキャナプールを作成する

スキャナ プールは、SVMに接続できるVscanサーバと特権ユーザを定義します。

開始する前に

- SVMとVscanサーバは同じドメインに属しているか、相互に信頼されたドメインに属している必要があります。
- クラスタ管理LIFを使用してONTAPウイルス対策コネクタを設定します。
- 特権ユーザーのリストには、Vscan サーバーが SVM に接続するために使用するドメインとユーザー名が含まれている必要があります。
- スキャナ プールの設定が完了したら、サーバへの接続ステータスを確認します。

手順

1. スキャナ プールを作成します。

```
vserver vscan scanner-pool create -vserver cluster_admin_SVM -scanner-pool scanner_pool -hostnames Vscan_server_hostnames -privileged-users privileged_users
```

- クラスタ管理 SVM を指定します。
- 各 Vscan サーバホスト名に IP アドレスまたは FQDN を指定します。
- 各特権ユーザーのドメインとユーザー名を指定します。

```
`vserver vscan scanner-pool create`
```

の詳細については、[link:https://docs.netapp.com/us-en/ontap-cli/vserver-vscan-scanner-pool-create.html](https://docs.netapp.com/us-en/ontap-cli/vserver-vscan-scanner-pool-create.html)["ONTAPコマンド リファレンス"]をご覧ください。

2. スキャナ プールが作成されたことを確認します。

```
vserver vscan scanner-pool show -vserver cluster_admin_SVM -scanner-pool scanner_pool
```

次のコマンドは、`SP` スキャナプールの詳細を表示します：

```
cluster1::> vserver vscan scanner-pool show -vserver cluster_admin_SVM
-scanner-pool SP

Vserver: cluster_admin_SVM
Scanner Pool: SP
Applied Policy: idle
Current Status: off
Cluster on Which Policy Is Applied: -
Scanner Pool Config Owner: cluster
List of IPs of Allowed Vscan Servers: 1.1.1.1, 10.72.204.27
List of Host Names of Allowed Vscan Servers: 1.1.1.1, vmwin204-
27.fsct.nb
List of Privileged Users: cifs\u1, cifs\u2
```

```
`vserver vscan scanner-pool
show` コマンドを使用して、クラスター上のすべてのスキャナプールを表示することもできま
す。link:https://docs.netapp.com/us-en/ontap-cli/vserver-vscan-scanner-
pool-show.html["ONTAPコマンド リファレンス"^]の `vserver vscan scanner-pool
show` の詳細を確認してください。
```

## MetroCluster構成でONTAP Vscanスキャナプールを作成する

MetroCluster構成の各クラスタには、クラスタのプライマリとセカンダリのSVMに対応するプライマリとセカンダリのスキャナ プールを作成する必要があります。

開始する前に

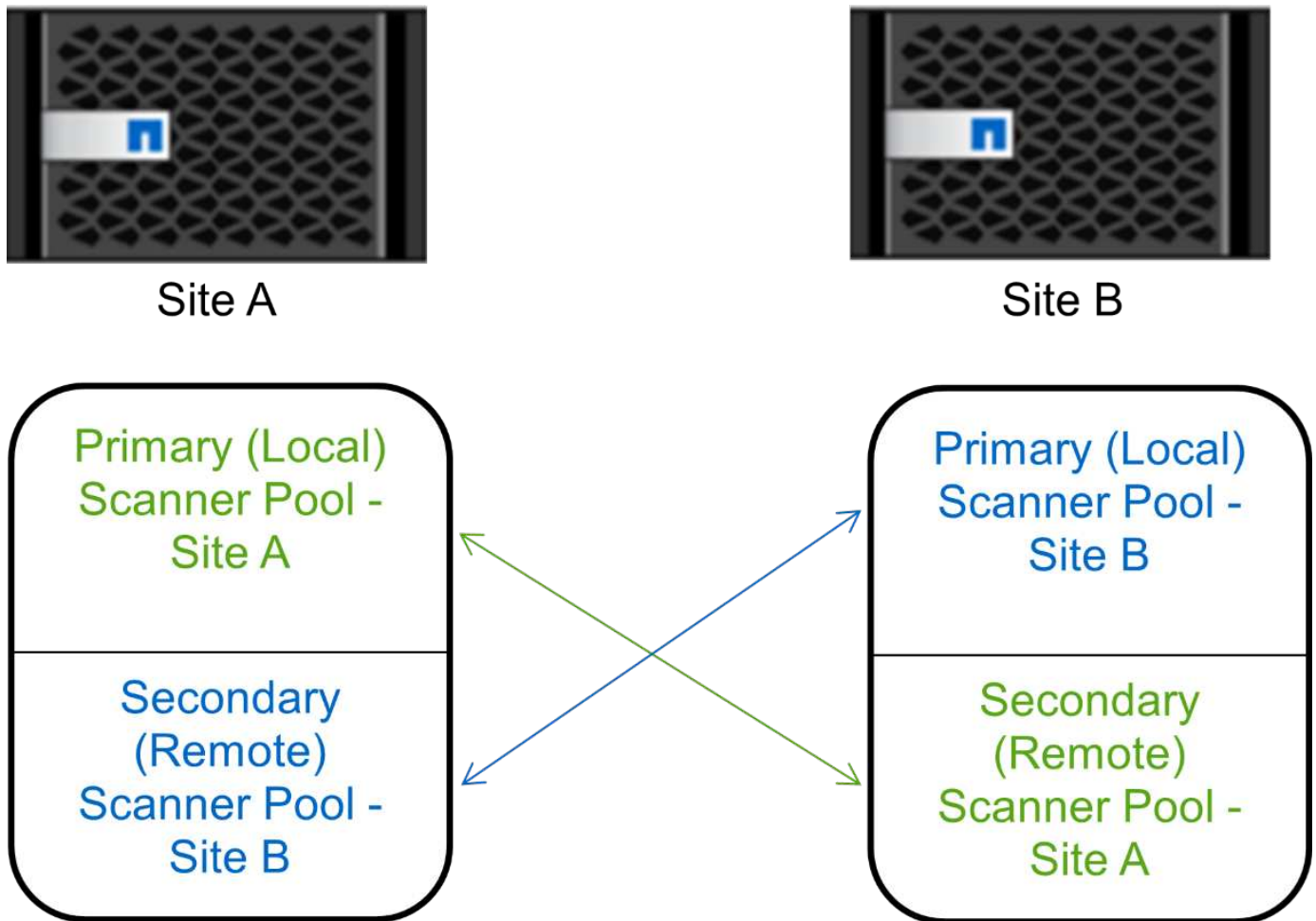
- SVMとVscanサーバは同じドメインに属しているか、相互に信頼されたドメインに属している必要があります。
- 個々のSVM用のスキャナ プールを定義する場合は、SVM管理LIFまたはSVMデータLIFにONTAP Antivirus Connectorを設定しておく必要があります。
- クラスタ内のすべてのSVM用のスキャナ プールを定義する場合は、クラスタ管理LIFにONTAP Antivirus Connectorを設定しておく必要があります。
- 特権ユーザのリストには、VscanサーバがSVMへの接続に使用するドメイン ユーザ アカウントが含まれている必要があります。
- スキャナ プールの設定が完了したら、サーバへの接続ステータスを確認します。

タスク概要

MetroCluster構成は、物理的に分離された2つのミラー クラスタを実装することでデータを保護します。各クラスタが、もう一方のクラスタのデータおよびSVM設定を同期的にレプリケートします。クラスタがオンラインのときは、ローカル クラスタのプライマリSVMがデータを提供します。リモート クラスタがオフラインのときは、ローカル クラスタのセカンダリSVMがデータを提供します。

したがって、MetroCluster構成の各クラスタに、プライマリとセカンダリのスキャナ プールを作成する必要があります。セカンダリSVMがデータの提供を開始すると、セカンダリ プールがアクティブになります。ディザスタ リカバリ（DR）については、MetroClusterと同様の構成になります。

この図は、代表的なMetroCluster / DR構成を示しています。



#### 手順

1. スキャナ プールを作成します。

```
vserver vscan scanner-pool create -vserver data_SVM|cluster_admin_SVM -scanner-pool scanner_pool -hostnames Vscan_server_hostnames -privileged-users privileged_users
```

- 個々の SVM に対して定義されたプールにはデータ SVM を指定し、クラスタ内のすべての SVM に対して定義されたプールにはクラスタ管理 SVM を指定します。
- 各 Vscan サーバホスト名に IP アドレスまたは FQDN を指定します。
- 各特権ユーザーのドメインとユーザー名を指定します。



スキャナ プールの作成は、いずれもプライマリSVMを含むクラスタから実行する必要があります。

```
`vserver vscan scanner-pool create`
```

の詳細については、link:<https://docs.netapp.com/us-en/ontap-cli/vserver-vscan-scanner-pool-create.html>["ONTAPコマンド リファレンス  
"^]をご覧ください。

次のコマンドは、MetroCluster構成の各クラスタにプライマリとセカンダリのスキャナ プールを作成します。

```
cluster1::> vserver vscan scanner-pool create -vserver cifssvm1 -  
scanner-pool pool1_for_site1 -hostnames scan1 -privileged-users cifs  
\u1,cifs\u2
```

```
cluster1::> vserver vscan scanner-pool create -vserver cifssvm1 -  
scanner-pool pool1_for_site2 -hostnames scan1 -privileged-users cifs  
\u1,cifs\u2
```

```
cluster1::> vserver vscan scanner-pool create -vserver cifssvm1 -  
scanner-pool pool2_for_site1 -hostnames scan2 -privileged-users cifs  
\u1,cifs\u2
```

```
cluster1::> vserver vscan scanner-pool create -vserver cifssvm1 -  
scanner-pool pool2_for_site2 -hostnames scan2 -privileged-users cifs  
\u1,cifs\u2
```

## 2. スキャナ プールが作成されたことを確認します。

```
vserver vscan scanner-pool show -vserver data_SVM|cluster_admin_SVM -scanner  
-pool scanner_pool
```

次のコマンドは、スキャナプール `pool1` の詳細を表示します：

```
cluster1::> vserver vscan scanner-pool show -vserver cifssvm1 -scanner  
-pool pool1_for_site1
```

```
                                Vserver: cifssvm1  
                        Scanner Pool: pool1_for_site1  
                Applied Policy: idle  
                Current Status: off  
Cluster on Which Policy Is Applied: -  
                Scanner Pool Config Owner: vserver  
List of IPs of Allowed Vscan Servers:  
List of Host Names of Allowed Vscan Servers: scan1  
                List of Privileged Users: cifs\u002fu1,cifs\u002fu2
```

``vserver vscan scanner-pool show`` コマンドを使用して、SVM上のすべてのスキャナプールを表示することもできます。link:<https://docs.netapp.com/us-en/ontap-cli/vserver-vscan-scanner-pool-show.html>["ONTAPコマンドリファレンス"]の ``vserver vscan scanner-pool show`` の詳細を確認してください。

## ONTAP Vscanを使用して単一クラスタにスキャナポリシーを適用する

スキャナ ポリシーは、スキャナ プールがアクティブかどうかを定義します。スキャナ プールによって定義されるVscanサーバがSVMに接続できるようにするには、先にスキャナ プールをアクティブにする必要があります。

### タスク概要

- 1つのスキャナ プールには1つのスキャナ ポリシーのみを適用できます。
- クラスタ内のすべてのSVM用のスキャナ プールを作成した場合は、各SVMにスキャナ ポリシーを個別に適用する必要があります。

### 手順

1. スキャナ ポリシーを適用します。

```
vserver vscan scanner-pool apply-policy -vserver data_SVM -scanner-pool  
scanner_pool -scanner-policy primary|secondary|idle -cluster  
cluster_to_apply_policy_on
```

スキャナ ポリシーには次のいずれかの値が設定されます。

- ``Primary`` スキャナプールがアクティブであることを指定します。
- ``Secondary`` プライマリスキャナプール内のVscanサーバがいずれも接続されていない場合にのみ、スキャナプールがアクティブになるように指定します。
- ``Idle`` スキャナプールが非アクティブであることを指定します。

次の例は、vs1 SVM上の ``SP`` という名前のスキャナプールがアクティブであることを示しています  
:

```
cluster1::> vserver vscan scanner-pool apply-policy -vserver vs1  
-scanner-pool SP -scanner-policy primary
```

2. スキャナ プールがアクティブなことを確認します。

```
vserver vscan scanner-pool show -vserver data_SVM|cluster_admin_SVM -scanner  
-pool scanner_pool
```

この手順で説明されているコマンドの詳細については、"[ONTAPコマンド リファレンス](#)"を参照してください。

次のコマンドは、`SP` スキャナプールの詳細を表示します：

```
cluster1::> vserver vscan scanner-pool show -vserver vs1 -scanner-pool
SP

Vserver: vs1
Scanner Pool: SP
Applied Policy: primary
Current Status: on
Cluster on Which Policy Is Applied: cluster1
Scanner Pool Config Owner: vserver
List of IPs of Allowed Vscan Servers: 1.1.1.1, 10.72.204.27
List of Host Names of Allowed Vscan Servers: 1.1.1.1, vmwin204-
27.fsct.nb
List of Privileged Users: cifs\u1, cifs\u2
```

`vserver vscan scanner-pool show-active` コマンドを使用して、SVM上のアクティブなスキャナプールを表示できます。link:<https://docs.netapp.com/us-en/ontap-cli/vserver-vscan-scanner-pool-show-active.html>["ONTAPコマンドリファレンス"]の `vserver vscan scanner-pool show-active` の詳細をご覧ください。

## MetroCluster ONTAP Vscan構成でスキャナポリシーを適用する

スキャナ ポリシーは、スキャナ プールがアクティブかどうかを定義します。MetroCluster構成では、各クラスタのプライマリとセカンダリのスキャナ プールにスキャナ ポリシーを適用する必要があります。

### タスク概要

- 1つのスキャナ プールには1つのスキャナ ポリシーのみを適用できます。
- クラスタ内のすべてのSVM用のスキャナ プールを作成した場合は、各SVMにスキャナ ポリシーを個別に適用する必要があります。
- ディザスタ リカバリ構成およびMetroCluster構成では、ローカル クラスタとリモート クラスタのすべてのスキャナ プールにスキャナ ポリシーを適用する必要があります。
- ローカルクラスタ用に作成するポリシーでは、`cluster`パラメータにローカルクラスタを指定する必要があります。リモートクラスタ用に作成するポリシーでは、`cluster`パラメータにリモートクラスタを指定する必要があります。これにより、災害発生時にリモートクラスタがウイルススキャン処理を引き継ぐことができます。

### 手順

1. スキャナ ポリシーを適用します。



```
vserver vscan scanner-pool apply-policy -vserver data_SVM -scanner-pool
scanner_pool -scanner-policy primary|secondary|idle -cluster
cluster_to_apply_policy_on
```

`vserver vscan scanner-pool apply-policy`  
の詳細については、link:<https://docs.netapp.com/us-en/ontap-cli/vserver-vscan-scanner-pool-apply-policy.html>["ONTAPコマンド リファレンス  
"^]を参照してください。

スキャナ ポリシーには次のいずれかの値が設定されます。

- `Primary` スキャナープールがアクティブであることを指定します。
- `Secondary` プライマリスキャナプール内のVscanサーバーがいずれも接続されていない場合にのみ、スキャナプールがアクティブになるように指定します。
- `Idle` スキャナープールが非アクティブであることを指定します。



スキャナ ポリシーの適用は、すべてプライマリSVMを含むクラスタから実行する必要があります。

次のコマンドは、MetroCluster構成の各クラスタのプライマリとセカンダリのスキャナ プールにスキャナ ポリシーを適用します。

```
cluster1::>vserver vscan scanner-pool apply-policy -vserver cifssvm1
-scanner-pool pool1_for_site1 -scanner-policy primary -cluster cluster1

cluster1::>vserver vscan scanner-pool apply-policy -vserver cifssvm1
-scanner-pool pool2_for_site1 -scanner-policy secondary -cluster
cluster1

cluster1::>vserver vscan scanner-pool apply-policy -vserver cifssvm1
-scanner-pool pool2_for_site2 -scanner-policy primary -cluster cluster2

cluster1::>vserver vscan scanner-pool apply-policy -vserver cifssvm1
-scanner-pool pool1_for_site2 -scanner-policy secondary -cluster
cluster2
```

## 2. スキャナ プールがアクティブなことを確認します。

```
vserver vscan scanner-pool show -vserver data_SVM|cluster_admin_SVM -scanner
-pool scanner_pool
```

```
`vserver vscan scanner-pool show`
```

の詳細については、[link:https://docs.netapp.com/us-en/ontap-cli/vserver-vscan-scanner-pool-show.html](https://docs.netapp.com/us-en/ontap-cli/vserver-vscan-scanner-pool-show.html)["ONTAPコマンド リファレンス"^]を参照してください。

次のコマンドは、スキャナプール `pool1` の詳細を表示します：

```
cluster1::> vserver vscan scanner-pool show -vserver cifssvm1 -scanner  
-pool pool1_for_sitel
```

```
                Vserver: cifssvm1  
                Scanner Pool: pool1_for_sitel  
                Applied Policy: primary  
                Current Status: on  
Cluster on Which Policy Is Applied: cluster1  
                Scanner Pool Config Owner: vserver  
List of IPs of Allowed Vscan Servers:  
List of Host Names of Allowed Vscan Servers: scan1  
                List of Privileged Users: cifs\u1,cifs\u2
```

`vserver vscan scanner-pool show-active` コマンドを使用して、SVM上のアクティブなスキャナプールを表示できます。[link:https://docs.netapp.com/us-en/ontap-cli/vserver-vscan-scanner-pool-show-active.html](https://docs.netapp.com/us-en/ontap-cli/vserver-vscan-scanner-pool-show-active.html)["ONTAPコマンド リファレンス"^]の `vserver vscan scanner-pool show-active` の詳細をご覧ください。

## Vscan でスキャナ プールを管理するための ONTAP コマンド

スキャナ プールを変更および削除し、スキャナ プールの特権ユーザとVscanサーバを管理できます。また、スキャナ プールに関する概要情報を確認することもできます。

状況	入力するコマンド
スキャナ プールを変更する	<code>vserver vscan scanner-pool modify</code>
スキャナ プールを削除する	<code>vserver vscan scanner-pool delete</code>
スキャナ プールに特権ユーザを追加する	<code>vserver vscan scanner-pool privileged-users add</code>

スキャナ プールから特権ユーザを削除する	<code>vserver vscan scanner-pool privileged-users remove</code>
スキャナ プールにVscanサーバを追加する	<code>vserver vscan scanner-pool servers add</code>
スキャナ プールからVscanサーバを削除する	<code>vserver vscan scanner-pool servers remove</code>
スキャナ プールの概要と詳細を表示する	<code>vserver vscan scanner-pool show</code>
スキャナ プールの特権ユーザを表示する	<code>vserver vscan scanner-pool privileged-users show</code>
すべてのスキャナ プールのVscanサーバを表示する	<code>vserver vscan scanner-pool servers show</code>

この手順で説明されているコマンドの詳細については、"[ONTAPコマンド リファレンス](#)"を参照してください。

## 著作権に関する情報

Copyright © 2026 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S. このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および / または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータ ソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用权を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用权については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

## 商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。